

せいろうまち 聖籠町 議会だより

VOL.153
12月議会
令和8年
1月30日発行

新潟県聖籠町議会

今年も良い年でありますように
(次第浜 日枝神社)

新年のあいさつ



町から回答が来ました

(P.2)

(P.6)



蓮潟環境保全チーム役員の声

(P.8)

一般質問 町政を問う

(P.10)



ニチエロ

無料アプリで議会だよりが手軽に閲覧できるようになりました。



ios

Android





新春を迎えて

議長 議長

みやざわ みつこ
宮沢 光子

謹んで新春のお祝いを申し上げます。
町民の皆さまにおかれましては、日頃から、議会に対し温かいご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

今年は午（うま）年です。馬は群れで行動する動物でもあるので、うま年には「人と人の絆と協調」を大切にするという意味合いがあるようです。

議会は行政をチェックすることが大きな仕事ですが、議会と行政は車の両輪だとよく言われます。両輪ですので、どちらかがいびつになると正常な運転ができなくなります。「安心で安全な町づくり」のために健全な議論を重ねていく年にしたいと思います。そして、議会全体で冷静に建設的な議論をすることを目指したいと思っています。

昨年はずっと言われ続けている地球温暖化現象を、改めて実感した年でした。日本は四季の良さを楽しめる国だと思っていました。日々における寒暖差や局地的な豪雨等、予測のつかない自然災害が起こりうる国になったようです。こういう時だからこそ、人と人が支え合う町にしていきたいと思っています。

結びに、町民の皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ新年のごあいさつと致します。



12月議会 定例会

12月定例会は10日から16日までの会期で開催しました。議案では、町企業版ふるさと納税基金条例の制定をはじめ他2件、聖籠町税条例の一部改正ほか1件。固定資産審査評価委員の選任・人権擁護委員の推薦。ざぶ〜ん館とトレーニングルームの管理者の指定。一般会計他4件の補正予算が上程され、提出された案件は全て可決されました。

町乳児等通園支援 事業の基準を定める条例

提案理由

子ども・子育て支援法等の一部と児童福祉法の一部が改正され、保育所等に通っていない、0歳6カ月から満3歳未満を対象とした、子どもの通園支援事業が創設され、市町村の認可事業となり新たに条例制定するものです。

主な質疑

議員 市町村の認可事業ということだが認可は町のどの課で許可や審査をするのか。
この事業をやりたい事業者に対しての周知はどのようにするのか。
子ども教育課長 町の認可事業となるので、法人による意向調査をし、意向確認がとれた事業所と事前に打ち合わせをしながら、進めていきたいと思っています。
許可の審査は、子ども教育課で行う予定にして

いる。
議員 この事業は、国によって定められた事業だと思いが、2025年度各自自治体で県内、先行実施している市町村はどれだけあるのか。
子ども教育課長 すべて把握していない。
議員 県内では6市が実施して、早い市では5月から実施しているそうだが、町民の立場としては遅いのではないか。
子ども教育課長 子育ての町をうたっている町として、率先して取り組んでほしいと思うが、なぜ遅れたのか。
町長 新しい制度の義務化は、来年4月からになる。
教育委員会検討してきたものと思っている。国が求める新しい子育てとしての条例提案に、事務的な整理もあつたものと思っている。
子ども教育課長 今現在この事業は補助事業として行っている自治体がある。担当課として手上げが



健やかに育って！

遅れてしまったことが原因だと思っている。
議員 国から出された事業なので、アンテナを張りめぐらして、スピード感を持ち内容を把握し、実施してほしいと思う。
町長 国の新しい子育て支援の構想が出たので、当然情報があつたと思う。できるだけ早く動いてきたと思うが、町の保育に対応していただいている法人の事業の関係等もあり、今回の条例提案になった。

議員表決結果報告

令和7年12月定例会

議員個々の賛否：賛成＝○ 反対＝× 欠席＝欠 ※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	川上りな	長谷川進一	栗原博久	斎藤豊	高崎美由貴	伊藤千穂	宮沢さやか	長谷川六男	青木順	田中智之	中村恵美子	須貝龍夫	手嶋満	宮沢光子	採決結果 (賛成：反対)
町長	議案第72号～第84号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(13：0)
	同意第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意(13：0)
	諮問第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任(13：0)
請願議員	請願第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択(13：0)
	発議第7号～第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(13：0)

令和7年12月定例会提出議案 15件 (条例5件、予算5件、その他5件)

議案72 聖籠町企業版ふるさと納税基金条例の制定について

企業版ふるさと納税による寄付金を翌年度以降の事業にも活用できるようにするための条例制定

議案73 聖籠町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

市町村の認可事業として新たに「こども誰でも通園制度」が創設されたことに伴い、国から示された基準を踏まえた認可基準を定めるための条例制定

議案74 聖籠町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について

市町村の認可事業として新たに「こども誰でも通園制度」が創設されたことに伴い、町から認可を受けた事業者が乳児等通園支援給付を受けるための運営基準を定めるための条例制定

議案75 聖籠町税条例等の一部を改正する条例について

近年の納税環境の変化等を踏まえ、督促手数料の徴収を廃止するための条例改正

議案76 聖籠町観音の湯ざぶ～ん館条例の一部を改正する条例について

近年の人件費・光熱水費等の高騰を踏まえ、ざぶ～ん館宿泊棟の利用料を見直す条例改正

議案77 新潟県市町村総合事務組合規約の変更について

議案78 指定管理者の指定について〔聖籠観音の湯ざぶ～ん館〕

議案79 指定管理者の指定について〔聖籠町総合体育館（トレーニングルーム）〕

令和8年4月1日から令和13年3月31日の期間の指定管理者の指定

議案80 令和7年度聖籠町一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれに2億1946万5千円を追加

議案81 令和7年度聖籠町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

議案82 令和7年度聖籠町介護保険特別会計補正予算（第3号）

議案83 令和7年度聖籠町下水道事業会計補正予算（第3号）

議案84 令和7年度聖籠町水道事業会計補正予算（第4号）

同意2 聖籠町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるについて

羽賀拓也氏を任命することについて同意を求める

諮問1 人権擁護委員の推薦につき意見を求める

渡邊富子氏を推薦することについて意見を求める

請願3 新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組に関する請願書

発議7 議会基本条例に係る特別委員会設置に関する決議

発議8 議員定数・議員報酬に係る特別委員会設置に関する決議

補正予算

聖籠中学校の空調設備
機能低下で
夏場24時間稼働

中学校の
光熱水費
770万円

空調設備の
抜本的な
見直しをせよ！



令和7年の夏は災害級の猛暑で、連日30度を超える日が続いた。中学校の空調設備は開校当初からの設備で、建設当時の設計による空調では対応が困難となっている。このような状況から24時間稼働を行うこととなった。

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	2億1946万円	介護給付費等負担金	884万円
		新潟県農林水産業総合振興事業補助金	390万円
		ふるさと応援寄付金	9000万円
		繰越金	1億1945万円
		ふるさと納税支援業務委託料	3558万円
		介護給付費等扶助費	3537万円
		備品購入費	-5034万円
		光熱水費（中学校費）	770万円
			91億4462万円

議員 中学校費の中で、光熱水費が770万7000円と、町内の小学校と比べても、かなり大きな金額になっている。なぜこれほど差が出ているのかその理由については、子ども教育課長 最も大きな要因は、聖籠中学校において、夏場の猛暑対策としてエアコンを24時間連続で稼働させている点にある。

町長 近年の猛暑により、建設当時の設計による空調では対応が困難となっている。現在行っている対策は対処療法に過ぎず、根本的な解決には至っていない。専門的知見が不足しているため、文部科学省に相談しており、助言が得られれば空調設備の根本的な見直しを検討する。当面は猛暑対策として、費用を伴っても温度を下げるための対応を行っていく。

主な質疑

令和6年度決算特別委員会における 意見書に対する町からの回答

令和6年度決算認定の特別委員会での意見書に対して、町から11月20日付で回答がありましたので、その一部をお知らせします。

こども園支援

私立認定こども園のうち、一園の経営者が変わったがそれでも支援金を支払うのか。支払うなら根拠を明確にしたい。

回答 この支援金は、令和4年度開園の認定こども園の建設費用が、ウッドショックなどに加え建設段階よりも大幅に高騰になった。その後の物価高騰の状況下においても保護者に負担を求めることなく、安定した保育が提供されることを目的として、2法人に対してウッドショックの影響相対分の財政支援を行った。そのうちの一つの法人の理事長が変わったが、法人は存続しており現在も同様に子ども一人一人に目を向けた事業提供であり、保護者負担の軽減目的から支援は継続する。

資料展示館再考を

「歴史資料展示館にしえ」は、年間を通じて利用客が見込めない。注目されづらい立地であるが故、町民からも忘れ去られている施設と感じる。この施設の有効な活用を見いだせないのであれば、売却等も含めて検討したい。

回答 この施設は平成20年に開館し、町史編さんで判明した資料や、宗龍寺の棟板等を展示して地元集落の各団体から利用されてきた。しかし、コロナ感染症以降利用が少なく、活用するにも駐車場等の問題もあり、今後売却も含め検討していきたいと考えている。



売却も検討すべき資料展示館

網代浜海水浴場

網代浜海水浴場の開設には、毎年1500万円ほどの経費がかかる。経費を精査し経費削減に努められたい。

回答 議会からの指摘も踏まえ「海水浴場の在り方検討委員会」を立ち上げ、町民アンケートを実施するとともに海水浴場の存廃を含めて委員会において議論をし、今後の在り方について意見をもろう予定だ。町は、その意見を踏まえて海水浴場の開設について検討したいと考えている。



数年来 客足が激減の海水浴場

道路樹木管理

道路沿いに植栽されている樹木等は、剪定や伐採回数が少ないため見通しが悪く危険な箇所もみられる。交通安全および環境美化を図るため草刈り・剪定の回数を増やすべきだ。

回答 草刈り回数や剪定回数については、経費削減等も踏まえ必要最低限の回数に抑えてきたところだ。近年の天候等も考慮し適正な回数になるよう努める。



交通事故の予防にも常に適切な管理を



防火井戸点検

かつての防火井戸で使えられないものもある。機能していない井戸は、安全のためにも点検を確認し順次撤去すべきだ。

回答 現在、消防団各班においては、定期的に井戸を含めた水利の点検を行っている。

その中で、機能していない井戸や安全が確保できない井戸があった場合は、予算の範囲内で速やかに撤去を行っていきたいと考えている。



壊れたら危険な古井戸は撤去を

消防団充実を

消防団員加入に向け団員報酬の見直しや、家族の理解を得るためにも団員の重要性を広く周知されたい。

回答 消防団員の報酬は、消防庁が定める非常勤消防団員の報酬等の基準に基づき見直しを行っており、令和5年度から見直した報酬額を支給している。今後もこの報酬等の基準の見直しに合わせて支給する。

また、家族の理解・協力が不可欠と考えており、消防団活動の重要性については広報等で周知に努める。



団員の活躍で安心な暮らし

償還払い制度

償還払い制度による町民サービスが多くあるが、予算額と決算額の乖離が大きい。町民への広報が足りなかったのか、また要因は何だったのかを検証し、多くの町民生活安定につなげられたい。

回答 予算計上にあたっては、実績や今後の見込みを考慮したうえで、不足が生じないよう算定し、必要に応じて増額または減額補正を行っているが、不用額の多い償還払い制度のサービスについては、その要因について調査し、より多くの町民への安定した生活支援につなげられるよう検討する。



庭園管理

保健福祉センター植栽物管理委託料について、先を見据え経費削減も踏まえ必要のない樹木については早めに伐採することを検討されたい。

回答 保健福祉センター敷地内の植栽については、引き続き景観等を損なうことがないように適切に管理していく。とともに、建物への接触や敷地を越境する恐れのある支障木が発生した場合は、伐採も含めた対応を検討していく。



適切な管理で景観の維持を

ドック受診啓発を

人間ドック受診者で60歳以下の受診率が低い。働き盛りの世代にも人間ドック助成金制度を活用してもらおうことで、がん予防や成人病予防に努められたい。併せて脳ドックの助成制度も周知されたい。

回答 病気の早期発見・早期治療が重要と考えている。生活習慣病の予防および病気の早期発見・早期治療につながる特定検診や人間ドックの受診率向上に努めていく。

また、脳疾患の早期発見に向け、脳ドックの助成制度の周知に努める。



健診受診で安心な暮らし(健康開発センター)



Vol.26

お届けします！
笑顔で集う
町民の声

すまいる

質問項目

- Q1 「蓮湯環境保全チーム」の活動から思うことは？
- Q2 町に期待することは？

蓮湯環境保全
チーム役員の声

私たちのチームは、農業者と集落が一体となって農業の振興と集落環境整備の推進を図っています。



そね あきゆき
曾根 昭幸さん
(代表)

- 1 自治会などと協力して草刈り植栽等を行い、地域の環境整備ができたと思います。
- 2 聖籠町の長所を内外にアピールしてほしい。今後も多面的機能にご支援ご協力をお願いいたします。



いとう ひさお
伊藤 久雄さん
(会計担当)

- 1 半信半疑で始めた「蓮湯環境保全チーム」の活動。20年ほど経過し、今や全世帯が参加する重要な取り組みです。
- 2 農業振興、集落環境を向上・維持する大切な活動です。今後とも後方支援をお願いします。



いからし じゅんこ
五十嵐 順子さん

- 1 会員皆仲良しで協力的で何事に対しても一生懸命で地域ぐるみで「安心安全な環境づくり」をモットーとして取り組んでいます（カッコいい環境保全チームです）。
- 2 聖籠町は人にやさしく住みよい所として高く評価されていることに対して誇りに思っております。しかし、もう少し高齢者にも豊かになるような手を差し伸べてほしいと思います。



さくま まりこ
佐久間 真利子さん

- 1 老人クラブや育成会が行う活動もあり、世代間の交流の場になっています。
- 2 花植え活動の継続、ごみのポイ捨てがない町、よろしく願います。



みなさんの「声」 請願1件を調査

全員賛成で採決

◎新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組に関する請願書

提出者

新潟市中央区新光町6-2
新潟水俣病共闘会議議長代行
中村 周而

紹介議員 伊藤 千穂・宮沢 さやか
【請願の趣旨】

いまなお未救済の被害者が、水俣病であることを求めて裁判を起こしたり、公害健康被害補償法にのっとって認定申請するなど、新潟水俣病は終わっていません。その最大要因は、救済制度を見直さないことや水俣病特措法に基づく被害者発生地域の住民健康調査が確実に行われていないことなどによりです。

要望事項

- ①国は、未救済被害者の救済に向けて新たな救済制度を確立すること。
- ②平成22年4月の特措法に関する閣議決定および平成23年3月のノーモア・ミナマタ新潟訴訟の和解条項を踏まえて、阿賀野川流域住民の健康被害調査を早急に実施するよう、被害者団体と協議すること。

↓採択を受け、国に意見書を提出。

町民との
意見交換会

第4回目となる今回の意見交換会は、前回に引き続き各種団体の皆さまと専門的な知見を深め意見交換を行う趣旨のもと、11月11日、「商工会青年部と意見交換会」を開催しました。

2つの議題について3グループに分かれ意見交換を行いました。

議題に対し、さまざま



議会の議員定数・報酬に対する意見

- 議員の活動内容を町民にわかりやすく伝えてもらいたい。
- 思っていたより報酬が少ないと感じた。
- 議員定数を減らすのなら報酬を上げてほしい。

な意見がありましたので、主な意見を紹介します。

町イベントの活性化に対する意見

- イベントの活性化には子どもたちを巻き込むことが重要。
- 子どもたちの声を聞くことができ、やりがいを感じる。
- 観桜会ではステージを利用し活性化が必要。
- スワンボートの導入、シャトルバス運行等活性化が必要。

いただいた意見は、議員間で共有し議会で検討協議していきたいと考えます。



活発な意見交換が行われました

固定資産評価
審査委員会委員

はが たくや
羽賀 拓也さん



固定資産評価審査委員会委員の羽賀拓也さんが令和7年12月31日をもって任期満了になります。引き続き羽賀さんを委員に任命することについて同意を求められ、全員賛成で同意しました。羽賀さんは令和5年1月から委員として活躍されており、これからも適正かつ公平な審査を期待します。

人権擁護委員 渡邊 富子さん

わたなべ とみこ



人権擁護委員の渡邊富子さんが令和8年3月31日をもって任期満了することから、再度渡邊さんを委員に推薦するため意見を求められ、全員賛成で適任と答申しました。

渡邊さんは令和5年4月から委員として活躍されており、今後もその手腕を発揮されることを期待します。

一般質問 町政を問う



12月定例会では9人の議員が、町長および教育長に町の行政について質問しました。

長谷川 六男 議員 P10

- ・聖籠福祉会
- ・はすがた園の今後
- ・見えない西脇カラー
- ・文化会館の時計

修繕はいつだ

斎藤 豊 議員 P11

- ・松の維持管理は適正か
- ・道賀新田
- ・旧竹内家の利活用は
- ・不登校・
- ・不登校傾向者の対応は

長谷川 進一 議員 P11

- ・難聴者支援施策の
- ・充実を
- ・ゴルフ場跡地の
- ・適正課税

中村 恵美子 議員 P12

- ・暮らし応援事業の
- ・継続を
- ・役場内の連携を密に
- ・教育大綱次年度は

宮沢 さやか 議員 P12

- ・町のDX施策の
- ・優先度は
- ・幼児教育保育体制と
- ・町職員配置

青木 順 議員 P13

- ・消防団は
- ・今後どうしていくのか

手嶋 満 議員 P13

- ・老朽した公共施設は

田中 智之 議員 P14

- ・どうなった
- ・バイオマス発電所

栗原 博久 議員 P14

- ・老人への手厚い施策を

施設 聖籠福祉会はすがた園の今後

町長 町は経営状況を見守っていく



はせがわ りつお 長谷川六男議員の視点

問 町長は、現在の聖籠福祉会の経営状況をどのように認識しているか。

町長 令和7年6月に就任された新理事長から現在の経営状況や課題、そして今後の改善に向けた経営方針について伺っている。新理事長の下で経営改善に努められ、安定した経営となることを望んでいる。

見えない西脇カラー

問 行政財政改革道半ば、任期満了まで1年」と大きな見出しで、新潟日報に掲載されていた。子育て支援に力を入れる中で、いま一つ西脇カラーが見えないとの記事が載っていた。町民が指摘してい



いづれ世話になるだろう町の特別養護老人ホーム

る見えない西脇カラーをどのように捉えるか。

町長 報道機関が独自の手法で情報を入手し、独自の視点で記事として公表している内容について、論評することは控えたい。

文化会館の時計修繕はいつだ

問 昨年の12月定例会で質問した文化会館の時計修理について、予算が伴えば修理したいとの前向きな考えと捉えた。現在どのように考えているか。

教育長 次年度の当初予算要望に、文化会館の時計の修理について計上しているところである。

管理

松の維持管理は適正か

教育長 薬剤の樹幹注入を行う



さいとう ゆたか 斎藤豊議員の視点

問 蓮野小学校の校門脇の黒松が松くい虫被害で枯損状態である。玄関前の五葉松や敷地内の松は旧敷地から移植されたものである。これらの松やシンボルである五葉松は適切に維持管理が行われているのか。

教育長 松くい虫被害を受けた黒松は、1月末までに撤去する。玄関前の五葉松は冬場に薬剤の樹幹注入を行う。

道賀新田旧竹内家の利活用は

問 道賀新田地区の旧竹内家住宅および敷地が町に寄付採納されている。この物件の利活用計画は、教育長 文化財を保存、活用していくか、文化財



とむわ 枯れてしまった「常盤の松」

保存活用地域計画の策定準備を進めている。その審議の中で保存、活用が難しいようであれば、解体も含め検討する。

不登校・不登校傾向者の対応は

問 令和6年度の小・中学生の不登校者数は69人、不登校傾向者数は132人であった。どのような課題認識か。

教育長 児童・生徒および学校に対する支援をより充実させるために、子ども家庭センターや校内教育支援センターの充実を検討する。

共生

難聴者支援施策の充実を

町長 共生社会推進に向け検討する



はせがわ しんいち 長谷川進一議員の視点

問 本町は手話が必要とする「ろう者」と、ろう者以外の者が共に生きる地域社会実現のため、手話言語条例を県内では一番早く制定した。平成29年の国連総会において、9月23日を手話言語の国際デーと決議した。その日に合わせて各市町村でブルーライトアップ事業を実施している。本町はいまだに実施していない。次年度からは役場庁舎等にこの事業を実行すべきではないか。

町長 ブルーライトアップ事業については、役場庁舎などで行う場合、事業の目的が伝わるような施設選定や事前周知の手法などを検討したいと考える。



共に学び共に生きる社会を

ゴルフ場跡地の適正課税

問 東港地内にあったゴルフ場が撤退した。当該土地は、ゴルフ場評価課税のため近傍地と比較して低評価額であった。次年度土地課税は、地方税法の定めにより市街化区域内価格を適用し、税収増を図るべきではないか。

町長 ゴルフ場が閉鎖されて以来、その後の適正な評価について検討をした。町は、閉鎖前と同様の評価方法が適正と考えている。

教育

暮らし応援事業の継続を

町長 検討したい

なかむら えみこ
中村恵美子議員の視点

問 暮らし応援事業は、令和6年度と比べて7年度は、申請件数は増えた。これからは、リフォーム工事を考えている人も多いと思う。8年度も実施するべきでないか。

町長 暮らし応援事業は、若者支援、移住促進の観点から、若者世帯、転入世帯それぞれに補助率の加算を設けている。毎年度多くの人が加算対象となっている。

新年度予算編成時に、実施を検討したい。

役場内の連携を密に

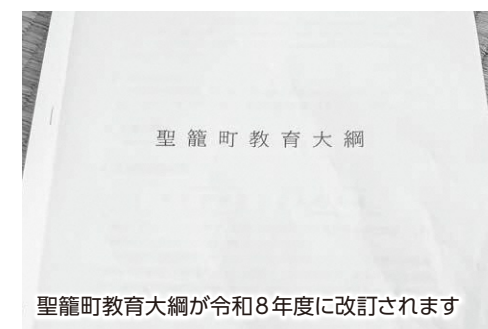
問 生活保護受給者となった人に対して、国民健康保険税が口座から徴収された。

横の連携を密に行い、二度とこのようなことがないようにすべきでないのか。

町教育大綱 次年度は

問 聖籠町教育大綱の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間である。次年度はどうか。

町長 総合計画の後期計画に合わせて、今年度中に改定する予定である。



聖籠町教育大綱が令和8年度に改訂されます

町のDX施策の優先度は

町長 位置づけは高いものと認識

みやざわ
宮沢さやか議員の視点

問 聖籠町LINE公式アカウントの現状評価は。町長 人口に対する登録の割合は27・5%だ。今後も登録者の増加に向けて取り組む必要がある。

問 双方向型の住民サービスを提供できる環境は整っている。LINEを活用することが、最も現実的効果的ではないか。

幼児教育保育体制と町職員配置

問 令和9年度に私立保育園の機能が拡充される。現在の町幼稚園の位置づけをどう考えているか。



こちらからLINEの友だち登録可能です！

具現する中核園として実践をリードしてほしい。

問 幼児教育体制の再編は避けられない流れだが、町立幼稚園の在り方と職員の配置について、引き続き具体的な議論を進めていくべきではないか。

町長 希望者がいる場合、その状況も踏まえ幼稚園を維持する必要がある。現時点で具体的な運営方針は定めていないが、職員の専門性と経験を最大限に生かす方を講じ、職員としての身分を保障することは当然のことだ。

防災力

消防団は今後どうしていくのか

町長 消防団と協議していく

あおき じゅん
青木順議員の視点

問 消防団員全体に向けたアンケートを取った。結果を踏まえ今後どうするのか。

町長 検討委員会でのアンケート結果を踏まえ、検討しているところだ。また団から報告される検討結果を踏まえ、団と協議したいと考えている。

問 団員の家族から意見を聞いたが、団員の多くは子育て世帯であり、支えている家族の負担軽減も考えてほしいという意見が多かった。また、操法大会に多額の経費が必要なら、各家庭に消火器の補助金を出したりさまざまなことをしたほうが、初期消火につながるのではと意見を聞いたがどうか。



老朽化した車両のため早期入れ替えを

町長 消防団は究極のボランティアということだ。町民とともに感謝している。操法大会の団員の考え方はさまざま。別な方法をと考える方もいると思うが、団で検討してほしいと考えている。

問 屋内遊び場整備について、駐車場の確保は大丈夫か。

町長 蓮野児童クラブの建物周辺や、多目的屋内運動場の隣の町有地も駐車場として整備する予定だ。約130台が駐車可能となるためスペースは確保できると考える。

老朽化

老朽した公共施設は

町長 一定の基準で今後方針を決定

てしま みつる
手嶋満議員の視点

問 町公共施設等総合管理計画に公共施設の解体・撤去、民営化、譲渡等の取り組みがあるが、統廃合を決める際に基準はあるか。

町長 住民に必要な施設か、利用者ニーズがあるか、事業の見直しや類似する施設の集約化等により効率化やコスト面の効果は図れるかを踏まえ判断する。

問 町公共施設等総合管理計画では、施設の中には老朽化が進み解体・撤去を検討とあるが、具体的にどの施設でいつまでに行うのか。

町長 消防団本部詰所、旧町営浜山球場、正庵地区・亀代地区屋内ゲートボール場等解体を検討し、



今後も老朽化が進行する公共施設

時期は総合的に判断する。

問 老朽化以外の理由で解体・撤去、民営化、譲渡等を計画している施設はあるか。

町長 町の建築物は、町民の大切な財産である。老朽化以外の理由で解体・撤去は行わず可能な限り町民のために活用すべきだ。

問 文化系、スポーツ・レクリエーション系、社会教育系の施設で利用者数の調査をしているか。

町長 施設により把握方法に違いはあるが、利用者数、入館者数の把握は行っている。

見て聞いて
話し合った

委員会レポート



広報広聴常任委員会 県内町村が共に学び合う広報研修会

【期 日】10月29日

【研 修 先】新潟県自治会館

【研修事項】

- ・議会広報の編集経過と課題について

午前中の事例発表は、田上町議会広報常任委員会、出雲崎町議会報特別委員会、津南町議会広報特別委員会の順番での発表でした。

午後から広報アドバイザーの金井講師から聖籠町の議会だより151号を広報クリニックを行う予定でしたが、都合により書面による提出となりました。

その後、各町村の委員6人ずつでのグルー

プに分かれて意見交換を行いました。各自が日頃の広報活動で感じていることや工夫している点などを共有し、他の委員の視点や取り組みを知ることができ、改善のヒントを得ることができました。

また、各委員から聖籠町の広報紙については高評価をいただき、有意義な研修会でした。
(文責 須貝 龍夫)



総務文教常任委員会 笑顔あふれる施設整備のために！

【期 日】11月17日

【視 察 先】五泉市交流拠点複合施設
「ラポルテ五泉」

【視察事項】

- ・屋内遊び場施設整備に向けた先進地の視察

ラポルテ五泉の屋内遊び場は複合施設内に設置されており、幅広い年代が多様な利用をすることのできる施設になっており、遊び場のみの利用にとどまらない相乗効果を生んでいました。

指定管理者が施設全体を管理運営しており、年間を通して多くのイベントを実施していることも集客につながっていて、指定管理者の

営業力・イベント力のたまものであると感じました。

今後、当町でも屋内遊び場の施設整備が見込まれていますが、幅広い年代が笑顔で集えるよき施設になることを切に願います。

(文責 伊藤 千穂)



どうなった バイオマス発電所

町 長 規模縮小になる 今後は不透明

問 新湯サンライズゴルフ場跡地にバイオマス発電所建設計画が発表されてから既に5年。出力30万kWという世界最大級の発電力を予定し、2026年度に運転開始の計画だったが、いまだ運転開始はおろか着工の気配すらない。なぜ進まないのか。

町長 燃料確保や価格の先行きが不透明なことから規模を縮小変更する予定だと、イーレックス(株)から情報提供があった。変更後の詳細な計画は検討中とのことで具体的な話はもらえなかったが、撤退は考えていないと確認した。

問 4年前の町長選挙の選挙公報で、町長はこの

たなか ともゆき
田中智之議員の視点

発電所から十数億円の税収(固定資産)が想定されると書いた。それを見た町民は「十数億円が入るんだ」と取ったと思う。しかし今まで入っていないし、先の見通しもない。うそとは言わないが、現状と違うのならば、改めてそのことを町民に説明するのが責任ではないか。

町長 選挙公報では、あくまで私は想定していると言っているだけの話で、もし公職選挙法に触れるのなら選挙が止める話だ。それを今、どうのこうのと議論するつもりはない。

見込んでいた年間10億円の財源がご破算に
町政運営どうする町長

老人への手厚い施策を

町 長 国と協力して期待に応えたい

問 本町の豊かな財政で教育レベルを上げてもらいたい。偏向したSNS情報から子どもたちを守ってほしい。

町長 SNSの問題対処での町条例制定は今の段階では考えていない。

問 子どもが学校に通いやすい環境整備と教育の質のさらなる向上を図ってほしい。

教育長 不登校問題はス

町長 町内介護法人が経営に苦慮していることは承知している。国の対策と連動して新たな補助を検討する。

問 保育法人へはそれなりの支援がなされているが、介護法人へは希薄だ。町独自の支援はできないか。

くりはら ひろひさ
栗原博久議員の視点

クールカウンセラーなどで対処し、他校とのオンライン授業などでも教育内容の充実を考えている。



安心する老後

ようこそ聖籠へ!

～ Welcome to Seiro ～

「ようこそ聖籠へ!」では、他市町村出身で、
現在聖籠町にお住まいのご家族にインタビューをします。



まつなが
松永 哲さん
(別條)



感謝を忘れずに

今回は、別條集落の松永さんご家族です。

Q 家族構成を教えてください。

私たち夫婦と子どもが3人。長男、次男、三男の5人家族です!

Q 出身地と聖籠町在住年数は?

出身は新潟市東区東石山です。
聖籠町在住年数は約10年目になります!

Q 町の良いところ(好きなところ)を教えてください。

自然豊かで、人も優しく子育てしやすい環境が大好きです。

Q どんな町になってほしいですか。

これ以上、あまり求める事がないくらい十分な町です。

Q どんな子どもに育ってほしいですか?

何事も感謝の気持ちで必ず忘れない大人になってほしいです。

Q ご家族の夢を教えてください。

家族皆、健康第一で笑顔が絶えない家族で十分です!



お知らせ

～ information ～

議会トップページは
こちらから



今回の定例会は、**3月4日(水)**開催予定です。

本会議を
聴くことが
できます

①FM 放送

エフエムしばた 76.9MHz

②インターネットサイマルラジオ

右の2次元コードから

聴くことができます。



★表紙の写真★

「今年も良い年でありますように」
(次第浜 日枝神社)

氏子役員は、12月31日から1月1日10時まで宮守をして、新年を迎えています。(1月1日)

発行責任者

議長 宮沢 光子

広報広聴常任委員会

委員長 須貝 龍夫

副委員長 斎藤 豊

委員 手嶋 満

伊藤 千穂

長谷川 進一

川上 りな

広報広聴常任委員会

委員 伊藤 千穂

新しい年を迎え、次の改選まで折り返しとなりました。改めて気を引き締めて研さんに努めていきたいと思っています。

12月定例会の議会では、新たに2つの特別委員会を設置しました。

1つは「議会基本条例に係る特別委員会」です。議会基本条例は、議会の基本的な在り方を定めたもので、より良い議会運営のために委員会で見直しをするものです。

もう1つの特別委員会は「議員定数・議員報酬に係る特別委員会」です。前回検討した際は、議員定数・報酬共に現状維持のままでした。あれから4年がたち社会情勢が変化するなかで、現状のままで良いかどうかを協議するものです。

議会活動全体を見直す機会にもつながる両委員会です。どのような内容であったかは、今後発行される議会だより内でお伝えする予定です。これからの議会だよりを注視していただけたら幸いです。

編集後記

発行 新潟県聖籠町議会
編集 広報広聴常任委員会
印刷 昭栄印刷株式会社

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4 TEL (0254) 27-1967 FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます

聖籠町議会

検索

聖籠町議会だよりは、環境にやさしい植物油インキを使用しています。